



京都部会(第 29 回)

日 時: 2015 年 6 月 19 日(金) 19:00~21:00

場 所: 同志社大学 良心館

参加者: 篠原総一(京都学園大学)、下村和平(山城高校)、大谷和海(関西大学中高等部)、上畑直久(京都市立栗陵中学校)、川上敏和(同志社大学)、柳 史郎(彦根翔陽高校)、西村理(同志社大学)、絹川温子(京都学園大学)【順不同】

【内容要旨】

- (1) 部会の開始に先立って、去る 4 月 28 日に急逝された京都部会のメンバーである奥村光太郎氏(同志社大学)のご冥福を祈って黙祷を捧げた。
- (2) 経済教育ネットワークの篠原総一代表者から今年 8 月に実施される「先生のための夏休み経済教室」(in 大阪)の確定した日程とプログラムの基本方針についての説明がなされた。今回の特徴は従来のエコノミストによる講演の代わりに現場の先生方に役立つプログラムが設定されていることである。また、「中学教科書で読み解く<労働>」では、労働基準法や最低賃金法など法律の内容についての説明が教科書では主であるが、当プログラムでは経済との係わりで労働に関する法律を解説する予定である。
- (3) 続いて、去る 5 月 9 日の大阪部会で持ち寄られた塙 枝里子氏(東京都立府中高等学校)による「社会の幸せを経済で考える」と「時間の経済学」についての紹介があった。さらに、日本経済教育センターによる「たこ焼き屋」の教材についての意見交換が行われた。
- (4) 報告に先立って、「効率と公平」の単元を如何に教えるかが話題になった。効率の意味については「無駄遣いしない」という考え方が一般的であるが、むしろ「社会の無駄を如何になくすか」の視点が重要であると共に、効率と公平は対立的な概念として捉えるべきでないということが篠原総一氏から強調された。
- (5) また野村総合研究所の「NRI 小論文コンテスト」、金融広報中央委員会(知るぽると)の「先生のための金融教育セミナー」等の案内があった。

(文責: 西村理)

次回開催予定: 2015 年 9 月 18 日(金) 19:00~21:00 (同志社大学 良心館)